

令和7年度

東伏見小学校

地域とともにある学校づくり

第1学年

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「 したのやいせきで きせつとなかよし 」
(活動名)

ねらい：

様々な季節の中で、自分たちの住む町の下野谷遺跡を見学し、どんぐりや木の実などを拾う活動や自然観察などを通して、下野谷遺跡への関心を高め、自分たちが住む町に愛着をもつ。

【11月10日(月)】

生活科見学で、下野谷遺跡を訪れました。
スタンプラリーで、「縄文体操」を踊ったり、
「下野谷クイズ」に挑戦したりしました。

また、「縄文時代の生活や遊び」を想像し、
木の実や葉っぱなどを拾って持ち帰り、後日、
拾った木の実などで作品をつくりました。下野
谷遺跡の秋と仲よくなりました。



【2月9日(月)】

下野谷遺跡に雪が降り、竪穴住居の上に積
もった雪を見て「初めて見た下野谷のけしき
だ〜」「きらきらしている！」と嬉しそうで
した。友達と、雪をじっくりと観察したり、雪
を使って遊びを考えたりしました。いつもと
違う下野谷遺跡の冬と仲よくなりました。

まとめ

自分たちが住む町にある大きな公園と思っていた下野谷遺跡に、大昔、人が住んでいたことを知り、興味をもちました。下野谷遺跡で季節ごとに遊ぶ活動を通して、下野谷遺跡にオールシーズン様々な植物や生き物がいて、季節ごとに変化していくことなど、各々で魅力を発見することができました。

これからも、地域の人々が大切に守っている下野谷遺跡について学習することを通して、更に地域に愛着をもってもらいたいです。